

第 137 回 『わかるように伝えていきますか』

香川大学教育学部 特別支援教育領域 教授
香川大学教育学部附属幼稚園 園長
香川大学学生支援センター バリアフリー支援室 室長

坂井 聡

不安を取り除くための方法

不安を取り除くための具体的な方法を考えるためには、何に不安を感じているのかを児童生徒本人から聞き取ることから始める必要があるでしょう。支援する側が想像もしないところに不安を感じていることがあるからです。不安を感じていることが分かったら、それに対して解決する手立てを本人や保護者と相談しながら具体的に考えていくことになります。本人が納得する支援が重要だからです。例えば「入学するのだが、教室の場所がどうなっているのか、入学式の手順がどうなのかが分からない」というようなことに不安を感じている場合を考えてみましょう。このような時は事前に学校見学の機会を設け、入学式会場を見たり、新しい教室なども見てもらったりしておくという方法が提案できるでしょう。できれば新しく担任になる先生も紹介しておけばいいと思います。入学前からそのようなことはできないと考える人もいるかもしれませんが、そこに不安で困っている児童や生徒がいるのです。不安を感じ困っている子どもに合わせるための最大限の配慮をすることは、教育において決してマイナスに作用することはないと思います。むしろ、教育的配慮しないことのほうがマイナスではないでしょうか。見学が無理な場合は、デジタルカメラや携帯電話等で撮った入学式会場の写真を送ったり、式次第を事前に送ったりすることで対応することも可能です。また、前年度の入学式の写真を送っておくという方法もあるのではないのでしょうか。

転校で学校が変わる場合も同様です。事前に家から実際に通学路を使って学校まで行き学校内を見学し、新学期から過ごす教室を見せたり、新しく担任になる先生の情報を知らせておいたりすることが、不安を取り除くうえで、重要な教育的配慮となります。通学路についてはインターネットの地図などの活用も考えられます。いずれにしても入学式や転校時の始業式等のスタートでつまづかないようにしておくことは、どの児童生徒にとっても重要なことなのです。ここでつまづいてしまうと、学校に行けなくなってしまう子どももいるかもしれないからです。そのような事にならないように保護者とも協力して安心して新しい環境を迎えることができるような工夫が求められるのです。

進学や転校ではなく、進級という形で新しい環境を迎える児童生徒もいるでしょう。進級の場合は、進学よりも不安は少ないでしょう。しかし、それでも新しい環境に対する不安は大きいものです。終業式の前に、自分のロッカー内の荷物や机やイスを新しい教室に移動させ、これまで使用していた教室をきれいに掃除するという方法も、不安を取り除き環境が変わることを意識づけるうえで効果的な方法です。新しい教室に持ち物を移動させることで新しい環境に見通しを持つことができるようにすると同時に、教室掃除と終業式をすることで終わりを伝えることができるからです。終わりの儀式をすることで、「終了」したことを意識してもらうようにするのです。

～坂井聡先生の紹介～

((プロフィール))

香川大学教育学部卒業 金沢大学大学院教育学研究科修了 香川大学教育学部附属養護学校など養護学校教諭を経て、現在香川大学教育学部特別支援教育領域 教授。1997 年には自閉症のコミュニケーション指導で辻村奨励賞受賞。